コミュニティFM　G'sky〔77.9MHz〕『國學院 FM-CATY』 毎週金曜日 19:00～19:30放送中　http://www.kokugakuin-jc.ac.jp

國學院大學
北海道短期大学部
学報

発行所
國學院大學
北海道短期大学部
〒073-0014
北海道滝川市
文京町三丁目1番1号
TEL
0125－23－4111㈹

平成二十九年度 入学式

―二六八名入学―

今年で第三十六回を迎える平成二十九年度入学式が、本学体育館において四月十日に挙行されました。

国文学科九十二名、総合教養学科百十名、幼児・児童教育学科六十名、専攻科福祉専攻六名の合計二百六十八名が入学しました。

このうち北海道外出身者が六六・八パーセントの一七九名となり、遠くは九州鹿児島県から、編入学・就職希望の学生が、滝川での短大生活に入ります。

式辞のなかで田村学長は、國學院大學の建学の精神について紹介された後、①学ぶ姿勢②日本人の精神性の原点③常に真剣に怠りなく準備をする④学校を使いこなす―ことを学生たちに式辞として話されました。

続いて、ご来賓の滝川市長前田康吉様より祝辞をいただきました。

新入生を代表して、総合教養学科の森宵空さん（滝川市立滝川西高等学校）が誓詞のなかで、「様々なことに挑戦し、自分を見つめ自律し、社会に貢献できる社会人を目指し、仲間とともに勉学に励みたい」と宣誓しました。

式典後に、本学国文学科月岡道晴教授による記念講演会「北海道と滝川を詩歌の都に！―きょうから作れるうたの詠み方―」が行われました。

また、終了後、恒例になっているウエルカムパーティでは、学生の滝川での一人暮らしをサポートして下さる大家さんが中心となり、学生ホール（食堂）にて二種類のカレーが入学生全員にふるまわれました。

新入生より

国文学科
小野村　凜

私はこの大学に入学してからの五ヶ月間とても充実した毎日を送っています。春に初めて滝川に来た時には、新しい学校生活や一人暮らしに不安がありましたが、今では友人にも恵まれ、学校生活やサークル活動をとても楽しんでいます。

滝川での暮らしの中でとても強く思うことは人との関わりの深さです。大学には一人暮らしの学生が多いこともあり、友人との距離がとても近く、五ヶ月前に出会ったとは思えないほどとても仲のいい友人が出来ました。私は北海道民ですが、友人の中には道外からきた人が多くいます。この大学にこなければ、道外の人たちの生活をこんなに詳しく知る事も、北海道の暮らしの楽しさを改めて知る事もきっと無かったと思います。このような出会いがある事がこの大学の良い所だと思っています。学校には素敵な先生方や面白い講義も多く、毎日がとても楽しいです。サークル活動では多くの人との出会いや楽しさを見つけ、充実した活動を行なっています。

大学生活は二年間という短い時間しかありませんが、この二年間を友人達と共に、勉強やサークル活動を頑張りながら充実したものにしていきたいと思っています。

総合教養学科
保田　和輝

私は、初めての一人暮らしや慣れない環境での生活など数多くの不安を抱えて國學院北海道短期大学部に入学しました。入学当初は、今まで親に頼りきっていた家事や自炊に追われ戸惑うことも多々ありましたが、今では友達と助け合いながら充実した毎日を送っています。

学校生活において、私は総合教養学科に所属し、経済学を中心に履修をしています。日々の講義を受けている中で、わからないことをすぐ質問できるなどといった、先生方と学生との距離が近いことがこの短大の最大の魅力であるように感じます。また、地域発展を目的としたゼミの活動を通して様々なボランティアに参加し、多くの滝川の方々と交流をしています。そうした活動の中で、滝川の方々の優しさや、自然の豊かさなどから改めて滝川は素晴らしい町であると感じました。

このような恵まれた環境で生活できていることを当たり前のこととは思わず、親への感謝を忘れずに、しっかりと学業と私生活を両立させていきたいと思います。また、残された一年半という短い短大生活を充実したものに出来るよう、サークルやゼミの活動に積極的に参加していきたいです。

幼児・児童教育学科
幼児保育コース
中村　樹奈

短大に入学してから約五カ月が経ちました。初めてのことに対する少しの不安と、新しい学校生活に期待を持ちながら迎えた入学式がつい最近のことのように感じます。

ここでの勉強は高校までのものとは違い、近い将来保育士・幼稚園教諭として働く、ということを強く意識させられるものでした。最初は長く感じていた九十分間の講義も今ではすっかり慣れ、あっという間に感じます。専門的な知識に関する講義の内容は少し難しい部分もありますが、どの先生も親身になって疑問が解決するまでアドバイスや解決策の提案などをしてくださいます。

八月から始まった十日間の保育所実習では多くのことを経験させていただいています。座学だけではわからない保育の現場での注意点や子供への声掛けの方法、子どもの年齢ごとの発達の違いなどを目の前で見ることのできる良い機会になっています。

この短大での生活は、実際に保育の現場で働くことになった際とても役立つと日々強く感じています。学科を交えての講義もあるので、保育に関する知識以外にも多くのことを吸収し今後の学校生活を過ごしたいと思います。

幼児・児童教育学科
児童教育コース
中村　優太

私は北海道での一人暮らしに不安を抱えながら國學院大學北海道短期大学部に入学しました。

親元を離れての生活は大変なことが多くある一方、自分自身ですべてをこなしていることで自立していると感じることができます。一人一人が不安を抱え助けを求めていることをお互いが感じ合っているため、学科の仲間や部活の仲間とはお互いに協力して、助け合っています。滝川での一人暮らしにおいて仲間の存在が大きなものであると全員が感じていると思います。

入学して半年近く経った今、一人暮らしの不安も解消され日々の生活を楽しめています。

授業に関しては、一講義九十分と初めは長く感じていた授業が、今となっては習慣となり、長く感じることはなくなりました。また、高校までと同じく、教授の方々との距離が近く、相談をしやすい環境となっているため、問題解決や悩みや不安をすぐに解消することができるので、安心して学生生活を過ごさせていただいています。

また私はボランティアに積極的に参加しています。近隣の小学校の学習ボランティアや自然教室のボランティア、川下りのボランティア等、北海道ならではの活動を体験できるようなボランティアに積極的に参加させていただいています。

自然あふれる北海道の地で、学生時代にしかできないような経験や体験を、残り一年半の中でしていきたいと考えています。滝川の地域活性化のために少しでも力になれるよう地域貢献に励みたいと思っています。この短大での生活が人生の中で最も濃いものだったと、将来思えるような二年間にしていきたいです。

平成二十九年度
父母会支部総会開催

平成二十九年度父母会支部総会が八月二十六日（土）道央第一支部（滝川）をかわきりに北海道内七支部及び北海道外二支部【東北六県及び北関東以西】の各会場で行われた。

短大部の学校祭開催日の六月十八日（日）に総会が行われ、承認・決定した事項について、各支部総会へ出席をされたご父母の皆さんに報告された。

支部総会後、出席されたご父母と参加した教員とで絵個人面談芥が行われた。一人暮らしをしている学生のご父母にとって、ゼミ担当の教員との面談は学生生活はもとより、成績・進学・就職など相談をされていました。

特に、道外第二支部（渋谷）では、過去最高の出席者数となり、個別面談の会場はご父母・在学生の熱気に包まれていた。

父母会支部総会開催日程

支部名	開催日	会場
道央第一支部（滝川）	8月26日(土)	國學院大學北海道短期大学部
道央第二支部（札幌）	8月27日(日)	北海道神宮　頓宮
道東第一支部（帯広）	8月27日(日)	帯広グランドホテル
道東第二支部（釧路）	8月26日(土)	釧路センチュリーキャッスルホテル
道東第三支部（北見）	9月2日(土)	ホテル黒部
道北支部（旭川）	9月3日(日)	旭川トーヨーホテル
道南支部（函館）	9月3日(日)	ホテル函館ロイヤル
道外第一支部（仙台）	9月2日(土)	ホテルレオパレス仙台
道外第二支部（渋谷）	9月9日(土) 10日(日)	國學院大學　若木タワー 9/9 支部総会、9/9.10 個人面談

専攻科福祉専攻
西出　汐里

専攻科福祉専攻に入学して五ヶ月が経ちました。専攻科への進学者は少数ではありますが、助け合いながら日々国家試験合格を目標に頑張っています。

入学当初は、月曜日から土曜日まで一限から五限と授業が入っていることに驚き、幼児・児童教育学科との違いから慣れない日々と疲労で風邪を引いたこともありました。勉強面では、覚えることも多く国家試験もあるので授業内容は難しいです。初めのころは、予習・復習を怠り抜き打ちテストで悪い点数をとり、「やる気がないのか」と怒られることも多々ありました。今では予習・復習をきちんと行う習慣がつき、国家試験対策では過去問の各科目をみんなで分担して協力しながら頑張っています。

七月には通所施設とグループホームで実習があり、利用者さんとのコミュニケーションの取り方で苦労しました。職員さんと利用者さんの関わり方を観察しながら、コミュニケーションの取り方を学ぶことが出来ました。十月には六週間の施設実習があるので、七月の実習で学んだことをしっかりと活かしながら行いたいと思います。

平成二十九年度
特待生・奨学生決定

六月一日、理事室において特待生・奨学生証書授与式が行われました。

田村学長から、各学科の特待生・奨学生の一人ひとりに証書が授与されました。

特待生・奨学生の授与対象者は左記のとおりです。

○特待生

【国文学科】小島奏子（登別明日中等教育学校）【総合教養学科】倉持誠二（千葉県：柏井高校）【幼児・児童教育学科】渡辺智穂（岩内高校）

○奨学生

【国文学科】山田貴徳（神奈川県：横浜清陵総合高校）、御園隼吉（神奈川県：川和高校）【総合教養学科】吉竹美紀子（旭川東栄高校）柴崎真亜子（埼玉県：正智深谷高校）【幼児・児童教育学科】白水加奈子（東京都：拓殖大学第一高校）、梅津里穂（滝川高校）

第三十六回
ありす祭開催!!

六月十七日に開催された第三十六回ありす祭の二日目では、ダンスの団体であるIZANAI北海道さんと滝川発ご当地アイドルのTa-colorsさんがパフォーマンスをしに来てくださいました。IZANAI北海道さんの踊りには魂がこもっており、見る人を熱くさせました。又、総踊りという皆んなで簡単に踊ることができる演目がありました。会場にいる殆どの人が楽しんで踊っている様子を見て、呼んで良かったなと心から思いました。又、Ta-colorsさんのLIVEは非常に盛り上がり、学生だけでなく一般の方々と一緒に楽しむことができました。この二組を何故呼んだのかというと、今年のありす祭のテーマである「学生と地域の方が楽しめるお祭り」というスローガンがあったからです。結果的に二組を呼ぶことにより、今まで存在すら知らなかった学生や地域の方々が一体となり、お祭りを楽しめる環境を創ることができて良かったです。

十八日のありす祭最終日で私は、芸能人のmisonoさんと屋外ステージでトークイベント形式のラジオ番組をやらせてもらいました。私は元々FM-CATYというラジオの団体に所属しており、その中から私含めて八人の仲間と一緒に一つの企画を作り上げました。イベント当日の一ヶ月以上前から企画を考え、入念な打ち合わせをした結果無事に終わることができました。成功の要因としては普段のラジオ放送のおかげもありますが、一番は下準備があったからこそ成功に終われたと思いました。

今年のありす祭では人と人との繋がりと、計画的な下準備の重要性が学ぶことができました。

学生会　総合教養学科二年　海野杜昂

平成三十年度入試について

平成三十年度入学試験要項が確定しました。前年度からの変更点をお知らせ致します。①特別指定校制学校推薦の幼児・児童教育学科（幼児保育コース）の募集定員を変更します。②公募制学校推薦の国文学科の募集定員を変更します。③國學院大學との併願型入試、第Ⅲ期・第Ⅳ期・第Ⅴの国文学科及び総合教養学科の募集定員を変更します。④大学入試センター試験利用入試の幼児・児童教育学科の募集定員を変更します。募集定員を変更した理由は、後半の受験者数が多い傾向があるため、後期の募集定員数を増加させました。

入学試験日程

入試方法				出願期間	選考日	合否発表日	入学手続期間
短期大学部の入試	推薦入試	高等学校長推薦	特別指定校制学校推薦第Ⅰ期	平成29年10月18日（水）～11月8日（水）願書必着	平成29年11月11日（土）	平成29年11月18日（土）	平成29年11月20日（月）～11月27日（月）必着
			特別指定校制学校推薦第Ⅱ期	平成29年11月20日（月）～12月5日（火）願書必着	平成29年12月10日（日）	平成29年12月16日（土）	平成29年12月18日（月）～12月25日（月）必着
			特別指定校制学校推薦第Ⅲ期	平成30年1月9日（火）～1月30日（火）願書必着	平成30年2月3日（土）	平成30年2月10日（土）	平成30年2月12日（月）～平成30年2月19日（月）必着
			指定校制学校推薦第Ⅰ期	平成29年10月18日（水）～11月8日（水）願書必着	平成29年11月11日（土）	平成29年11月18日（土）	平成29年11月20日（月）～11月27日（月）必着
			指定校制学校推薦第Ⅱ期	平成30年1月9日（火）～1月30日（火）願書必着	平成30年2月3日（土）	平成30年2月10日（土）	平成30年2月12日（月）～平成30年2月19日（月）必着
			公募制学校推薦	平成29年11月20日（月）～12月5日（火）願書必着	平成29年12月10日（日）	平成29年12月16日（土）	平成29年12月18日（月）～12月25日（月）必着
		自己推薦	自己推薦第Ⅰ期	平成29年10月18日（水）～11月8日（水）願書必着	平成29年11月11日（土）	平成29年11月18日（土）	平成29年11月20日（月）～11月27日（月）必着
			自己推薦第Ⅱ期	平成29年11月20日（月）～12月5日（火）願書必着	平成29年12月10日（日）	平成29年12月16日（土）	平成29年12月18日（月）～12月25日（月）必着
			自己推薦第Ⅲ期	平成30年1月9日（火）～1月30日（火）願書必着	平成30年2月3日（土）	平成30年2月10日（土）	平成30年2月12日（月）～平成30年2月19日（月）必着
			自己推薦第Ⅳ期	平成30年2月5日（月）～2月22日（木）願書必着	平成30年2月25日（日）	平成30年3月3日（土）	平成30年3月5日（月）～3月12日（月）必着
			自己推薦第Ⅴ期	平成30年2月27日（火）～3月13日（火）願書必着	平成30年3月17日（土）	平成30年3月21日（水）	平成30年3月22日（木）～3月27日（火）必着
			自己推薦第Ⅵ期	平成30年3月5日（月）～3月25日（日）願書必着	平成30年3月28日（水）	平成30年3月29日（木）	平成30年3月30日（金）～4月4日（水）必着
	日本語に関する基礎知識を問う入試			平成30年2月27日（火）～3月13日（火）願書必着	平成30年3月17日（土）	平成30年3月21日（水）	平成30年3月22日（木）～3月27日（火）必着
	特別入試	社会人・帰国子女	社会人・帰国子女特別入試第Ⅰ期（社会人入学者奨学生第一種対応）	平成29年10月18日（水）～11月8日（水）願書必着	平成29年11月11日（土）	平成29年11月18日（土）	平成29年11月20日（月）～11月27日（月）必着
			社会人・帰国子女特別入試第Ⅱ期（社会人入学者奨学生第二種対応）	平成30年1月9日（火）～1月30日（火）願書必着	平成30年2月3日（土）	平成30年2月10日（土）	平成30年2月12日（月）～平成30年2月19日（月）必着
			社会人・帰国子女特別入試第Ⅲ期（社会人入学者奨学生第二種対応）	平成30年2月27日（火）～3月13日（火）願書必着	平成30年3月17日（土）	平成30年3月21日（水）	平成30年3月22日（木）～3月27日（火）必着
		ありす会	ありす会特別入試第Ⅰ期	平成29年10月18日（水）～11月8日（水）願書必着	平成29年11月11日（土）	平成29年11月18日（土）	平成29年11月20日（月）～11月27日（月）必着
			ありす会特別入試第Ⅱ期	平成30年3月5日（月）～3月25日（日）願書必着	平成30年3月28日（水）	平成30年3月29日（木）	平成30年3月30日（金）～4月4日（水）必着
國學院大學との併願入試	併願入試	併願型第Ⅰ期		平成29年10月18日（水）～11月8日（水）願書必着	平成29年11月11日（土）	平成29年11月18日（土）	平成29年11月20日（月）～11月27日（月）必着
		併願型第Ⅱ期		平成29年11月20日（月）～12月5日（火）願書必着	平成29年12月10日（日）	平成29年12月16日（土）	平成29年12月18日（月）～12月25日（月）必着
		併願型第Ⅲ期		平成30年2月5日（月）～2月22日（木）願書必着	國學院大學 平成30年度一般入学試験 A・B日程、ⅥⅠ・ⅥⅡ方式	平成30年3月3日（土）	平成30年3月5日（月）～3月12日（月）必着
		併願型第Ⅳ期		平成30年2月27日（火）～3月13日（火）願書必着		平成30年3月21日（水）	平成30年3月22日（木）～3月27日（火）必着
		併願型第Ⅴ期		平成30年3月5日（月）～3月25日（日）願書必着		平成30年3月29日（木）	平成30年3月30日（金）～4月4日（水）必着
大学入試センター試験利用入試第Ⅰ期				平成30年2月5日（月）～2月22日（木）願書必着	平成30年 1月13日（土）・14日（日） 大学入試センター試験	平成30年3月3日（土）	平成30年3月5日（月）～3月12日（月）必着
大学入試センター試験利用入試第Ⅱ期				平成30年2月27日（火）～3月13日（火）願書必着		平成30年3月21日（水）	平成30年3月22日（木）～3月27日（火）必着
大学入試センター試験利用入試第Ⅲ期				平成29年3月5日（月）～3月25日（日）願書必着		平成30年3月29日（木）	平成30年3月30日（金）～4月4日（水）必着

オープンキャンパスの結果状況について

今年度はすでに三回（五月・六月・七月）のオープンキャンパスを終え、昨年度の約一・六倍にあたる参加者が来校されました。増加した理由としては、七月開催の開催日を土曜ではなく、日曜日に変更したこと。

今年度のテーマは、國學院らしく「日本の伝統文化」をメインに、六月は「七夕」、七月は「祭」をトピックとし、短冊を書いて柳の木（北海道は竹の代用に使用）に吊したり、浴衣を着てお店を出店したりなど、学生スタッフが工夫を凝らし盛り上げました。十月最後は「お月見」をトピックにして開催する予定です。

第2回 オープンスクール開催

昨年度に引き続き第二回目を迎えたオープンスクール（授業会報）は、周辺の高校生を始め、オープンカレッジ受講者、滝川市立図書館利用者、家主、リブラーン受講者（滝川市生涯学習振興会）等に広報し、三日間で二七名が参加してくれました（昨年は九名）。

開講科目も、九六講座開講（昨年三九講座）と昨年度よりもスケールアップしました。中でも専攻科の科目（認知症の理解、介護過程等）が人気を博していました。

この企画は、高校生や周辺地域の方々に聴講して貰うことで、科目の内容や学ぶ学生の姿、授業の雰囲気を知って貰おうと初めたもので、認知度も少しずつアップしてきました。

	7月26日（水）		7月27日（木）		7月28日（金）	
1講目 9:15～10:45	[国文学科] ★国文総論 [総合教養学科] ★エクステンシブリーディング ★英語コミュニケーションB [幼児保育コース] ★造形表現 Ⅰ	[児童教育コース] ★社会概説 ★小学校教育実習Ⅱ [福祉専攻] ★認知症の理解	[国文学科] ★日本文学概説Ⅰ [総合教養学科] ★ゼミナールⅠ [幼児保育コース] ★保育実習指導 Ⅰ	[児童教育コース] ★算数科指導法 ★教育課程論	[国文・教養総合学科] ★インターンシップ [幼児保育コース] ★発達心理学 Ⅰ [児童教育コース] ★職業研究A・総合学習	[教職課程] ★教育法規 [福祉専攻] ★心身機能構造
2講目 10:55～12:25	[国文学科] ★国文基礎演習 ★文芸創作展開B [総合教養学科] ★イングリッシュライティングA [幼児保育コース] ★保育内容（表現）	[児童教育コース] ★理科概説 ★生活概説 [福祉専攻] ★認知症の理解	[国文学科] ★国学 Ⅰ ★日本文学演習A・B・C [総合教養学科] ★ゼミナールⅡ	[児童教育コース] ★算数概説 ★教育原理 [福祉専攻] ★心身機能構造	[国文学科] ★日本文学講読A [児童教育コース] ★体育科指導法 [教養科目] ★科学の歴史	[幼児保育コース] ★児童文学 [福祉専攻] ★心身機能構造
3講目 13:05～14:35	[国文学科] ★卒業論文Ⅱ ★文芸創作基礎B [総合教養学科] ★エクステンシブリーディング [幼児保育コース] ★パソコン	[児童教育コース] ★職業研究D [学校図書館司書教諭] ★学校経営と学校図書館 [福祉専攻] ★認知症の理解	[総合教養学科] ★コンピュータC [児童教育コース] ★ゼミナールⅠ [教養科目] ★教養総合Ⅰ	[教職課程] ★教育実習Ⅱ [福祉専攻] ★心身機能構造	[国文学科] ★伝承文学概説 [幼児保育コース] ★保育原理 Ⅰ [教養科目] ★哲学（知と人間）	[図書館司書課程] ★図書館サービス概論 [福祉専攻] ★介護過程
4講目 14:45～16:15	[総合教養学科] ★TOEIC Bridge [幼児保育コース] ★日本語の基礎 [児童教育コース] ★音楽科指導法 ★パソコン	[教養科目] ★中国語演習ⅠA [教職課程] ★教育課程論 [福祉専攻] ★介護過程	[国文学科] ★アイヌ伝承 ★文芸創作基礎A [総合教養学科] ★コンピュータ情報処理	[幼児保育コース] ★英語・英会話演習 [児童教育コース] ★音楽の基礎 Ⅰ	[国文学科] ★国語学講読A ★日本文学史 [幼児保育コース] ★保育内容（環境） [教養科目] ★パソコン演習	[学校図書館司書教諭] ★学校図書館メディアの構成 [福祉専攻] ★介護過程
5講目 16:25～17:55	[総合教養学科] ★英語基礎演習A [教養科目] ★中国語演習ⅠA ★中国語演習Ⅳ （対象：高校生）	[学校図書館司書教諭] ★学習指導と学校図書館 [福祉専攻] ★介護過程	[総合教養学科] ★コンピュータ情報処理 [図書館司書課程] ★図書館概論		[国文学科] ★古典語の基礎A [教養科目] ★北海道と地域文化	[図書館司書課程] ★情報サービス論

授業アンケートと授業改善への取り組み

FDの定義は、知識＝専門分野を素材に成り立つ学問の府としての大学制度の理念・目的・役割を実現するために必要な「教授団の資質改善」または「教授団の資質開発」を意味する。」

一般的には二つの解釈がある。一つには、広く研究、教育、社会的サービス、管理運営の各側面の機能の開発であり、それらを包括する組織体と教授職の両方の自己点検・評価を含む。二つには、主に諸機能の中の教育に焦点を合わせる。「教育の規範構造、内容（専門教育と教養教育）、カリキュラム、技術などに関する教授団の資質の改善を意味する。」

基本的には教員の個人的な能力を発展させることにある。たとえば、良質な教育に求められる教員の資質として、「学問分野の最先端の知識、教材を使いこなす能力、学生とのコミュニケーション力、情報伝達能力、粘り強く思考し、その情熱を学生に伝達する力、よく学生の面倒を見ること、人間として感受性に富み、誠実で温かい人格など」が求められる。その達成のためのFD活動が、様々な形態で展開されている。このことからもその基礎的資料となる授業評価アンケートは重要な位置を占めている。

本学では開講されている全授業の「授業評価アンケート」の項目を昨年度大幅に改訂した。アンケート実施時期は、前期、後期のそれぞれの学期末に行うことを原則としている。ここでは、平成二十八度後期に行われた結果を左記の図表に示している。

アンケートの主要部分は、学生の自己評価（学習行動の把握及び授業への取組）十二項目と授業評価五項目に分かれている（図表参照）。また、この集計結果を基に、各授業担当者は、「授業改善計画書」によって改善計画を立てることになっている。

一　調査結果の概観

学生の自己評価　①学習行動の把握については、「予習＆復習をするなど授業に積極的に取り組みましたか?」に対して、平均値は五段階の四・一七と、高い数値が出た。さらに、「他の授業との関連やカリキュラムに於ける位置づけを理解した上で、授業を受けていましたか?」は、四・三一とさらに高い数値を示した。しかし、「図書館やインターネットの情報を活用した学習を行いましたか?」は、三・三と低く課題が残った。②授業に臨む自己の積極性を問う項目については、「この授業を履修して良かったですか?」に対して、平均値は五段階の四・五〇と高い数値を示した。また、最後の「この授業を通して、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?」は、成果を直接的に問う項目であるが、これについても、全体で四・五を上回ってる。しかし、「先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか?」については、三・七と自ら授業に積極的に関わろうとする意欲に欠けることが数値から明らかになった。

③授業評価については、授業を構成する要素を全五項目に分けて設問し、最後にその授業への満足度を問う内容である。

これらについても、前年度同様に、全ての項目について平均値で四を上回っている。最後の授業への満足度は、この調査の核とも言える設問であるが、これについても、全体で四・五を上回る高い値を示している。

これらは、アンケート結果を受け、指導法や教材の工夫等、年々授業改善を加えている各授業担当者の努力の結果と思われる。

また、自由記述欄からも高い数値を示した様子がうかがえる。

（主な意見）

○今までの知識を深めることができる活動が多く意義深い講義であったと思います。

○授業を通して将来への考え方が深まったと思います。

○授業に興味が持て、自ら課題を追究しようとする姿勢が少しは出来たと思います。

○他の学生の意見やプレゼンを聴くことにより自分自身も成長できたと思います。

二　「授業改善計画書」から

「授業改善計画書」は、個々の授業のアンケート集計結果に基づいて書くことを求めている。　各授業者の改善計画書には、それを踏まえながら、どれもアンケート結果を謙虚に受けとめ、改善に意欲的な姿勢が見られた。

改善書のなかには、すでに具体的方策を記述しているものも多いが、まだ模索しているものもある。

（主な改善策）

○教育実習に係わる個々の技術の向上については、指導に当たっての時間の使い方を工夫し、グループワークと併せ、可能な限り個別に模擬授業の演習を取り入れていきたい。

○「情報の活用」については、授業に向けての事前準備、授業後の更なる深化に向けて個々に学ぶよう指導し、その際の資料の入手等をきめ細かく指示していきたい。

○卒業論文を意欲的に執筆するためには、やはり一年次から何をテーマにするか、どのような先行研究があるのか、自分が深めたい内容はどのようなものかなどをしっかりと自覚させ、二年次にはスムーズに執筆に取りかかることができるように指導していく必要がある。

○記憶中心の一方的な授業方法の改善が必要と考える。学生がさらに様々な疑問や課題をみつけて、学ぶ事ができるように、まず、課題を与え、教科書以外の様々な資源（図書館、インターネット等）を活用できるきっかけを与えたい。

本学の主なFD活動は、FD委員を中心とした各機関が開催する研修会参加、専任教員を対象としたメンタルヘルス研修会、授業改善に関する研修会（平成二九年九月実施）を開催するとともにCAP制の導入、セメスター化の推進を図り、学生理解や学生への予習・復習の時間の確保と授業内容の改善を図った。今後は、時間的な課題を工夫しながら各学科・コース別に授業改善に関する授業公開、研究討議を行っていく必要性を実感している。

FD委員会委員長　田代　雄一

学生による授業評価アンケート結果（2016年度後期）

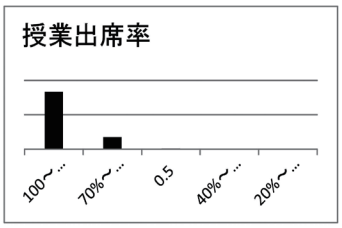
回収数　4114

所属学年

1年	2696人
2年	1339人

所属学科

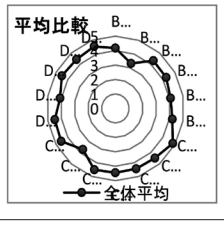
国文学科	1406人
総合教養学科	1432人
幼時保育＆福祉介護	543人
児童教育コース	655人
専攻科福祉専攻	16人

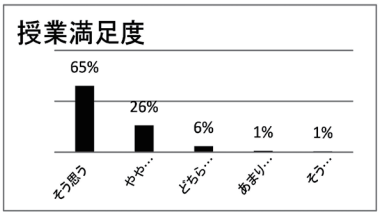


B（学習行動）	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	該当 無し	有効 回答	無効 回答
1 予習＆復習をするなど授業に意欲的に取り組みましたか?	4.17	1532	1483	654	176	124	11	3980	134
2 図書館やインターネットの情報を活用した学習を行いましたか?	3.32	1288	1036	751	199	295	527	4096	18
3 自身の進路に沿った学習や活動を行いましたか?	4.31	2076	1358	513	60	51	33	4091	23
4 他の授業との関連やカリキュラムに於ける位置づけを理解した上で、授業を受けていましたか?	4.28	2093	1284	519	87	70	38	4091	23
5 シラバスを読んだ上で、授業に臨んでいましたか?	4.09	2062	1024	534	168	256	42	4086	28
6 授業以外の時間にクラスメートや友人同士で話し合ったりすることはありましたか?	4.22	2047	1279	476	121	113	51	4087	27

C（自己評価）	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	該当 無し	有効 回答	無効 回答
1 この授業に意欲的に取り組みましたか?	4.48	2391	1317	311	54	22	2	4097	17
2 受講態度は良かったですか?	4.43	2296	1313	388	73	22	3	4095	19
3 この授業を理解できましたか?	4.44	2315	1334	317	85	35	6	4092	22
4 この授業を履修して良かったですか?	4.50	2560	1052	323	70	54	15	4074	40
5 先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか?	3.70	1575	1018	701	332	255	201	4082	32
6 この授業を通じて、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?	4.56	2456	1229	269	52	36	6	4048	66

D（授業評価）	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	該当 無し	有効 回答	無効 回答
1 先生の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか?	4.49	2559	1128	258	77	61	11	4094	20
2 参考本・テキスト・レジメ等の配布プリント・IT機器などは効果的に使われましたか?	4.09	2279	1038	308	56	44	363	4088	26
3 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか?	4.51	2506	1175	312	62	23	9	4087	27
4 先生は学生に発言や積極的な参加を促していましたか?	4.41	2462	1057	386	90	43	49	4087	27
5 全体としてこの授業に満足できましたか?	4.56	2667	1078	241	60	39	4	4089	25





学生による授業評価アンケート結果（2016年度後期）

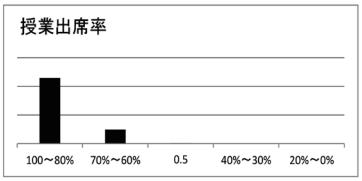
科目名	国文学科	開講コード	
教員名		履修者数	
		回収数	1406

所属学年

1年	887人
2年	518人

所属学科

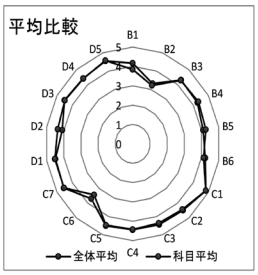
国文学科	1406人
総合教養学科	0人
幼時保育＆福祉介護コース	0人
児童教育コース	0人
専攻科福祉専攻	0人

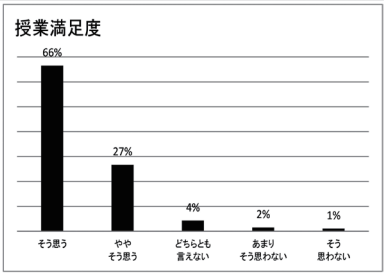


B（学習行動）	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	該当 無し	有効 回答	無効 回答
1 予習＆復習をするなど授業に意欲的に取り組みましたか?	3.84	499	520	211	71	45	59	1405	1
2 図書館やインターネットの情報を活用した学習を行いましたか?	3.21	435	330	247	87	85	219	1403	3
3 自身の進路に沿った学習や活動を行いましたか?	4.28	728	444	167	24	21	18	1402	4
4 他の授業との関連やカリキュラムに於ける位置づけを理解した上で、授業を受けていましたか?	4.35	785	393	162	30	16	14	1400	6
5 シラバスを読んだ上で、授業に臨んでいましたか?	4.25	804	317	152	56	66	4	1399	7
6 授業以外の時間にクラスメートや友人同士で話し合ったりすることはありましたか?	4.12	677	434	154	48	55	31	1399	7

C（自己評価）	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	該当 無し	有効 回答	無効 回答
1 この授業に意欲的に取り組みましたか?	4.42	768	480	117	27	8	1	1401	5
2 受講態度は良かったですか?	4.36	743	465	143	42	7	2	1402	4
3 この授業を理解できましたか?	4.42	781	467	101	38	11	2	1400	6
4 この授業を履修して良かったですか?	4.47	888	336	94	37	27	11	1393	13
5 先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか?	3.44	464	313	258	155	109	97	1396	10
6 この授業を通じて、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?	4.54	849	430	71	21	14	4	1389	17

D（授業評価）	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	該当 無し	有効 回答	無効 回答
1 先生の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか?	4.52	905	384	62	26	17	7	1401	5
2 参考本・テキスト・レジメ等の配布プリント・IT機器などは効果的に使われましたか?	4.36	853	375	78	19	10	61	1396	10
3 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか?	4.49	865	385	105	28	9	6	1398	8
4 先生は学生に発言や積極的な参加を促していましたか?	4.40	855	336	129	38	11	27	1396	10
5 全体としてこの授業に満足できましたか?	4.58	927	372	59	21	15	3	1397	9





学生による授業評価アンケート結果(2016年度後期)

科目名	幼児保育＆福祉介護コース	開講コード	
教員名		履修者数	
		回収数	543

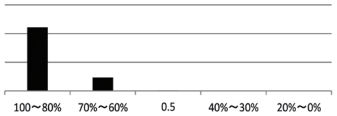
所属学年

	1年	365人
	2年	171人

所属学科

国文学科	0人
総合教養学科	0人
幼時保育＆福祉介護コース	543人
児童教育コース	0人
専攻科福祉専攻	0人

授業出席率

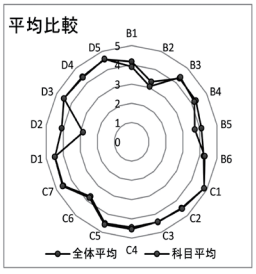


B(学習行動)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 予習&復習をするなど授業に意欲的に取り組みましたか?	3.90	200	196	87	19	34	7	543	0
2 図書館やｲﾝﾀｰﾈｯﾄの情報を活用した学習を行いましたか?	3.06	139	136	95	26	85	62	543	0
3 自身の進路に沿った学習や活動を行いましたか?	4.38	283	206	40	7	6	1	543	0
4 他の授業との関連やｶﾘｷｭﾗﾑに於ける位置づけを理解した上で、授業を受けていましたか?	4.18	256	181	69	14	20	2	542	1
5 ｼﾗﾊﾞｽを読んだ上で、授業に臨んでいましたか?	3.70	222	139	64	27	84	5	541	2
6 授業以外の時間にｸﾗｽﾒｰﾄや友人同士で話し合ったりすることはありましたか?	4.28	273	185	63	12	7	3	543	0

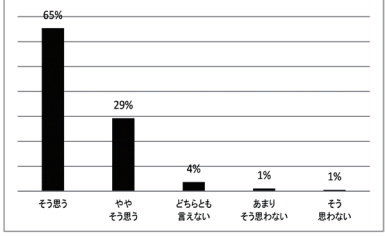
C(自己評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 この授業に意欲的に取り組みましたか?	4.53	328	183	25	5	2	0	543	0
2 受講態度は良かったですか?	4.42	285	203	47	5	2	0	542	1
3 この授業を理解できましたか?	4.54	322	186	28	4	1	0	541	2
4 この授業を履修して良かったですか?	4.57	338	161	27	2	8	1	537	6
5 先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか?	3.78	214	151	83	34	41	17	540	3
6 この授業を通じて、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?	4.60	330	172	29	3	2	0	536	7

D(授業評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 先生の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか?	4.51	342	153	35	7	6	0	543	0
2 参考本・ﾃｷｽﾄ・ﾚｼﾞﾒ等の配布ﾌﾟﾘﾝﾄ・IT機器などは効果的に使われましたか?	2.85	214	92	26	6	13	191	542	1
3 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか?	4.51	320	176	35	5	3	1	540	3
4 先生は学生に発言や積極的な参加を促していましたか?	4.37	313	156	49	14	9	2	543	0
5 全体としてこの授業に満足できましたか?	4.58	355	159	20	6	3	0	543	0

平均比較



授業満足度



学生による授業評価アンケート結果(2016年度後期)

科目名	総合教育学科	開講コード	
教員名		履修者数	
		回収数	1432

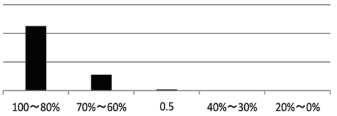
所属学年

	1年	979人
	2年	449人

所属学科

国文学科	0人
総合教養学科	1432人
幼時保育＆福祉介護コース	0人
児童教育コース	0人
専攻科福祉専攻	0人

授業出席率

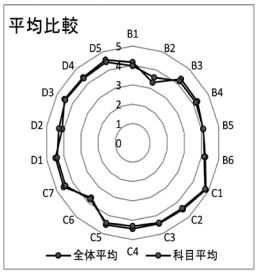


B(学習行動)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 予習&復習をするなど授業に意欲的に取り組みましたか?	3.98	520	548	256	50	26	31	1431	1
2 図書館やｲﾝﾀｰﾈｯﾄの情報を活用した学習を行いましたか?	3.60	453	433	309	65	77	92	1429	3
3 自身の進路に沿った学習や活動を行いましたか?	4.17	617	516	240	20	19	14	1426	6
4 他の授業との関連やｶﾘｷｭﾗﾑに於ける位置づけを理解した上で、授業を受けていましたか?	4.17	633	520	212	30	23	13	1431	1
5 ｼﾗﾊﾞｽを読んだ上で、授業に臨んでいましたか?	4.11	674	413	216	52	61	10	1426	6
6 授業以外の時間にｸﾗｽﾒｰﾄや友人同士で話し合ったりすることはありましたか?	4.16	655	476	201	44	39	11	1426	6

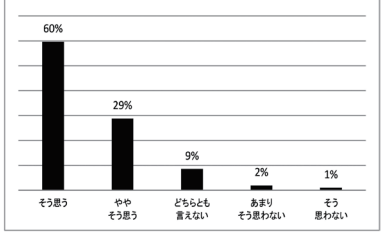
C(自己評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 この授業に意欲的に取り組みましたか?	4.41	778	491	134	17	10	1	1431	1
2 受講態度は良かったですか?	4.40	784	467	149	20	10	1	1431	1
3 この授業を理解できましたか?	4.30	719	506	151	32	19	4	1431	1
4 この授業を履修して良かったですか?	4.41	805	422	159	22	16	1	1425	7
5 先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか?	3.79	549	401	265	98	63	52	1428	4
6 この授業を通じて、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?	4.43	757	473	137	25	17	1	1410	22

D(授業評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 先生の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか?	4.39	807	455	110	30	24	4	1430	2
2 参考本・ﾃｷｽﾄ・ﾚｼﾞﾒ等の配布ﾌﾟﾘﾝﾄ・IT機器などは効果的に使われましたか?	4.29	786	435	137	21	9	43	1431	1
3 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか?	4.45	827	449	123	22	7	2	1430	2
4 先生は学生に発言や積極的な参加を促していましたか?	4.35	803	417	154	27	13	16	1430	2
5 全体としてこの授業に満足できましたか?	4.44	852	412	122	28	15	1	1430	2

平均比較



授業満足度



学生による授業評価アンケート結果(2016年度後期)

科目名	専攻科福祉専攻	開講コード	
教員名		履修者数	
		回収数	16

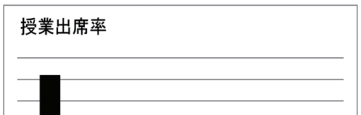
所属学年

	1年	15人
	2年	0人

所属学科

国文学科	0人
総合教養学科	0人
幼時保育＆福祉介護コース	0人
児童教育コース	0人
専攻科福祉専攻	16人

授業出席率

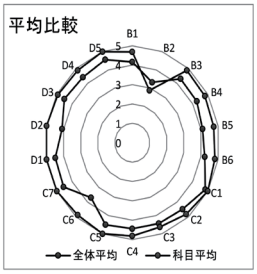


B(学習行動)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 予習&復習をするなど授業に意欲的に取り組みましたか?	4.69	11	5	0	0	0	0	16	0
2 図書館やｲﾝﾀｰﾈｯﾄの情報を活用した学習を行いましたか?	2.88	7	2	1	0	0	6	16	0
3 自身の進路に沿った学習や活動を行いましたか?	4.88	14	2	0	0	0	0	16	0
4 他の授業との関連やｶﾘｷｭﾗﾑに於ける位置づけを理解した上で、授業を受けていましたか?	4.81	13	3	0	0	0	0	16	0
5 ｼﾗﾊﾞｽを読んだ上で、授業に臨んでいましたか?	4.75	12	4	0	0	0	0	16	0
6 授業以外の時間にｸﾗｽﾒｰﾄや友人同士で話し合ったりすることはありましたか?	4.81	14	1	1	0	0	0	16	0

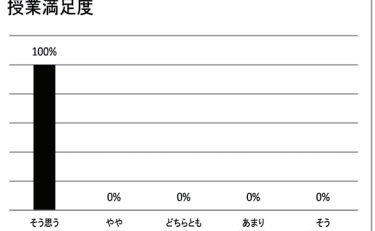
C(自己評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 この授業に意欲的に取り組みましたか?	4.81	13	3	0	0	0	0	16	0
2 受講態度は良かったですか?	4.63	12	2	2	0	0	0	16	0
3 この授業を理解できましたか?	4.81	13	3	0	0	0	0	16	0
4 この授業を履修して良かったですか?	5.00	16	0	0	0	0	0	16	0
5 先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか?	4.88	15	0	1	0	0	0	16	0
6 この授業を通じて、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?	5.00	16	0	0	0	0	0	16	0

D(授業評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 先生の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか?	5.00	16	0	0	0	0	0	16	0
2 参考本・ﾃｷｽﾄ・ﾚｼﾞﾒ等の配布ﾌﾟﾘﾝﾄ・IT機器などは効果的に使われましたか?	5.00	16	0	0	0	0	0	16	0
3 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか?	4.94	15	1	0	0	0	0	16	0
4 先生は学生に発言や積極的な参加を促していましたか?	4.88	14	2	0	0	0	0	16	0
5 全体としてこの授業に満足できましたか?	5.00	16	0	0	0	0	0	16	0

平均比較



授業満足度



学生による授業評価アンケート結果(2016年度後期)

科目名	児童教育コース	開講コード	
教員名		履修者数	
		回収数	655

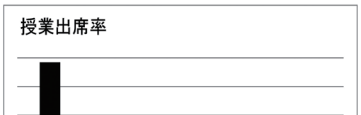
所属学年

	1年	443人
	2年	199人

所属学科

国文学科	0人
総合教養学科	0人
幼時保育＆福祉介護コース	0人
児童教育コース	655人
専攻科福祉専攻	0人

授業出席率

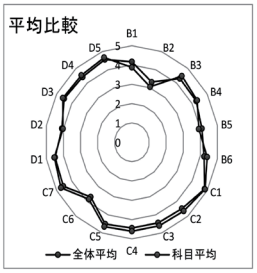


B(学習行動)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 予習&復習をするなど授業に意欲的に取り組みましたか?	3.88	274	197	95	35	19	34	654	1
2 図書館やｲﾝﾀｰﾈｯﾄの情報を活用した学習を行いましたか?	3.06	228	124	92	20	43	147	654	1
3 自身の進路に沿った学習や活動を行いましたか?	4.48	403	177	60	9	5	0	654	1
4 他の授業との関連やｶﾘｷｭﾗﾑに於ける位置づけを理解した上で、授業を受けていましたか?	4.34	373	176	71	12	11	9	652	3
5 ｼﾗﾊﾞｽを読んだ上で、授業に臨んでいましたか?	3.91	319	143	90	33	45	23	653	2
6 授業以外の時間にｸﾗｽﾒｰﾄや友人同士で話し合ったりすることはありましたか?	4.40	397	166	54	17	12	6	652	3

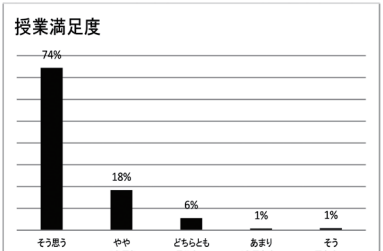
C(自己評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 この授業に意欲的に取り組みましたか?	4.65	472	144	33	4	2	0	655	0
2 受講態度は良かったですか?	4.60	444	160	41	5	3	0	653	2
3 この授業を理解できましたか?	4.60	450	155	35	9	4	0	653	2
4 この授業を履修して良かったですか?	4.65	482	117	40	8	3	2	652	3
5 先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか?	3.85	307	147	82	42	38	35	651	4
6 この授業を通じて、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?	4.72	472	140	28	3	3	1	647	8

D(授業評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
1 先生の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか?	4.53	455	125	45	14	14	0	653	2
2 参考本・ﾃｷｽﾄ・ﾚｼﾞﾒ等の配布ﾌﾟﾘﾝﾄ・IT機器などは効果的に使われましたか?	4.03	380	122	65	10	12	63	652	3
3 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか?	4.59	443	153	45	7	4	0	652	3
4 先生は学生に発言や積極的な参加を促していましたか?	4.53	441	137	48	11	10	4	651	4
5 全体としてこの授業に満足できましたか?	4.67	485	120	36	5	6	0	652	3

平均比較



授業満足度



オフィスアワーについて

オフィスアワーとは、専任教員が学生の質問や相談を受けられるように研究室にいる時間のことです。

授業内容はもちろんのこと、ゼミ・卒業論文等の質問などの相談、サークル顧問の専任教員への相談、一人暮らし等の相談にも応じています。

出校日、研究室などは下記のとおりです。（時間は専任教員により異なりますので確認してください。）

学科	氏名	階	研究室番号	オフィスアワー 月	火	水	木	金	土
国文学科	山寺三知	4階	第26研究室		○	○	○		
	安田義明	4階	第22研究室		○	○	○		
	月岡道晴	4階	第27研究室			○	○	○	
	森　悟郎	4階	第28研究室	○		○	○		
	秋山晴人	4階	第29研究室			○	○		○
	渡辺開紀	4階	第25研究室			○	○	○	
	菅野逸一	4階	第23研究室			○	○		
総合教養学科	平野泰樹	3階	第15研究室	○		○	○		
	太田信二	3階	第17研究室		○		○	○	
	牧野多聞	3階	情報処理室準備室	○			○	○	
	佐野博之	3階	第19研究室				○	○	○
	Timothy Mark Blankley	3階	第21研究室	○		○	○		
	舛井雄一	3階	第16研究室	○	○		○		
	二ノ宮靖史	3階	第20研究室		○	○	○		
幼児・児童教育学科	草薙恵美子	2階	第５研究室			○	○	○	
	黒阪陽一	2階	第11研究室	○		○	○		
	松田由理子	2階	第９研究室		○	○	○		
	田中一徳	2階	第６研究室	○	○		○		
	松村澄絵	2階	第８研究室					○	○
	田代雄一	2階	第１研究室	○		○	○		
	矢口元晴	3階	第18研究室		○	○	○		
	春田淳一	3階	第14研究室		○	○		○	
専攻科福祉専攻	鍋澤信子	2階	第４研究室			○	○	○	
	藤本　愉	2階	第７研究室	○		○	○		
	西原律子	2階	第２研究室	○	○		○		

※上記以外の先生は、授業日のみ来校し、１階の兼任講師室に滞在しています。

サークル紹介　自転車サークル

私達國學院大學北海道短期大学部自転車サークルは、平成二十八年に設立したばかりのサークルです。活動自体は基本的に自由ですが、休日や長期休暇に、走行プランを練って、参加希望者が参加するという形をとっています。メンバーのほとんどが初心者ですが、各々が自分の好みの一台（自転車）を見つけ、楽しく活動しています。

活動内容は、日帰りのフリーライドが多く、空知地域を中心に、富良野や留萌、旭川、夕張などを目的地として走ります。昨年は朱鞠内湖、今年は支笏湖へ合宿に行きました。ときには数日かけて、宗谷岬や積丹岬などにも行きます。

また、フリーライドのみならず、ときにはイベントや大会にも参加しています。滝川市をスタートした「空知スィートライド」や岩見沢市をスタートした「そらちグルメフォンド」では、コース上にいくつか設置されたエイドステーションで各地の名産品を食べながらゴールを目指すというもので、北海道の美味しいものを味わいながら、大自然を駆け回る、とても楽しいものです。

また、ブルベという大会では、二〇〇～三〇〇kmの決められたコースを時間内に走るというもので、ときには六〇〇kmを二日で走るという驚くようなものもあります。ブルベには、メンバーの中でも自転車に魅せられた一部のつわもののみが参加しています。

北海道の自転車シーズンは短く、雪解けから降り始めまでの六ヶ月ほどしかありませんが、これからも、自転車に乗りながら北海道での学生生活の最高の思い出をつくっていこうと思います。

自転車サークル部長
田尾將仁（国文学科二年）

新任挨拶

国文学科
渡辺　開紀

本年四月に國學院大學北海道短期大学部に着任しました。平成十五年に國學院大學を卒業し、大学院に通いながら、これまで関東近県の私立高等学校の教諭としての経験を積んできました。このたび、私の母校とゆかりある本学に奉職できることは、とてもうれしく、光栄であるとともに身の引き締まる思いです。

私の専門分野は古典文学です。主として、平安時代の「日記文学」作品の研究を進めてきました。特に『和泉式部日記』という作品に関心を抱いてます。

この作品は、平安きっての女流歌人・和泉式部が十ヶ月に及ぶ敦道親王との恋愛交渉を自分自身で綴ったといわれる作品です。その瑞々しい感性によって紡ぎ出された表現の数々は、まさに日本語の伝統をずっしりと背負った表現の宝庫です。分析のアプローチの方向性は様々ありますが、そうした表現によって織り成された豊かな作品世界のありようを見極めることをめざしています。

この『和泉式部日記』の講読をはじめとして、授業では、『古今和歌集』『源氏物語』の演習や、日本文学史等を担当しております。学問・研究の深淵に触れてもらえるような授業の在り方を追求したいと考えます。

短期大学部在学中に古典作品を学ぶことは、日本の文化や歴史に対する深い知見を得るために、非常に大きな意味を持っています。また、学生の皆さんの言語感覚を磨くうえでも重要です。社会で通用する言葉とは、単に意思伝達ためばかりのものではありません。日常の雑駁な話し言葉とは異なり、正確な表現でなくてはならず、時には格調の高ささえ必要です。そうした言葉を身につけるためにも、我々の言葉の背後に潜む歴史を学ぼうとする姿勢を大切してほしいと思います。

古典作品を通して、本学の伝統的な学問と最先端の学説とを知り、充実した学びの日々をともに過ごしましょう。

よろしくお願いいたします。

学生支援課
畠山　慶

こんにちは、今年度より國學院大學北海道短期大学部、学生支援課に配属となりました畠山慶と申します。平成二十七年に國學院大學北海道短期大学部国文学科を卒業し、國學院大學文学部史学科へ編入学、昨年度無事に卒業し短大部へ入職することとなりました。

元々出身は東京都で、高校卒業までは地元の学校に通っていましたが。大学受験を機に短大部へと入学し、國學院大學へ編入学を目指して二年間滝川の地で生活する内に北海道の魅力に惹かれていきました。

私自身在籍していた短大部・学生の為に働ける運びとなり、大変嬉しく思っております。学生とも比較的年齢が近いので、親身なアドバイスや相談にのってあげたいと思うのと同時に、学生時代とは異なる立場であるという意識を常に持ち、学生時代とは気持ちを切り替えて行かなければならず、身の引き締まる思いです。

短大部での仕事は覚えることが多く、日々必死に新しい仕事にチャレンジしているという感覚ですが、お世話になった母校で働けるという喜びを噛み締めています。また、学生時代には分からなかった職員や教員の方の苦労を知れたことも、大きな収穫だと思います。これからもひとつひとつ、やりがいを感じながら成長していき、一日でも早く一人前の職員として認めてもらえるよう精進して行きたいと思っています。

学生にとって短大部での生活は二年間という短い期間ですが、皆さんには教室での勉学だけでなく、北海道だからこそ学べる教室だけでは得られない知識や経験を培ってもらえたら嬉しく思います。そして、北海道を目一杯楽しみながら自身の進路に向かって欲しいと思いますし、その活動を職員としてしっかりサポートできればいいと思っています。宜しくお願い致します。